

株式会社 エヌアイデイ

2014年3月期第2四半期 決算説明会

2013年11月20日

代表取締役社長

鈴木 清司

1. はじめに
2. 2014年3月期第2四半期決算概要
 - セグメント別業績
3. 業績計画
4. 事業戦略

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. はじめに

会社概要

社名	株式会社エヌアイデー (英社名 : Nippon Information Development Co.,Ltd.)
本店営業所	中央区晴海1-8-10晴海アイランドトリトンスクエアX棟29F
設立	1967年(昭和42年)5月
資本金	6億5,335万円(2013年9月末現在)
事業内容	システム開発、情報処理サービス
社員数	956名、(NIDグループ : 1,433名)(2013年9月末現在)
発行済株式数	4,369,830株
株主数	681名(2013年9月末現在)
	<p>2003年1月 ジャスダック取引所に上場(証券コード2349)</p> <p>2007年9月 社団法人日本経済団体連合会(経団連)入会</p> <p>2010年1月 ISO27001認証取得</p> <p>2012年8月 本社及び事業拠点を晴海へ移転</p>

エヌアイデイグループ

	所在地	資本金	売上高 2014年3月期 第2四半期	社員	事業内容
(株)エヌアイデイ	東京都 中央区	6億53百万円	63億34百万円	956名	システム開発事業 情報処理サービス事業

連結子会社3社

(株)NID・IS	千葉県 船橋市	30百万円	12億24百万円	281名	システム開発事業 情報処理サービス事業
(株)NID東北	仙台市 宮城野区	30百万円	3億03百万円	78名	システム開発事業
(株)NID・IE	東京都 新宿区	30百万円	6億62百万円	118名	システム開発事業 情報処理サービス事業

(社員数：2013年9月末現在)

エヌアイデイ グループ



エヌアイデイ

連結子会社3社



NID・IS

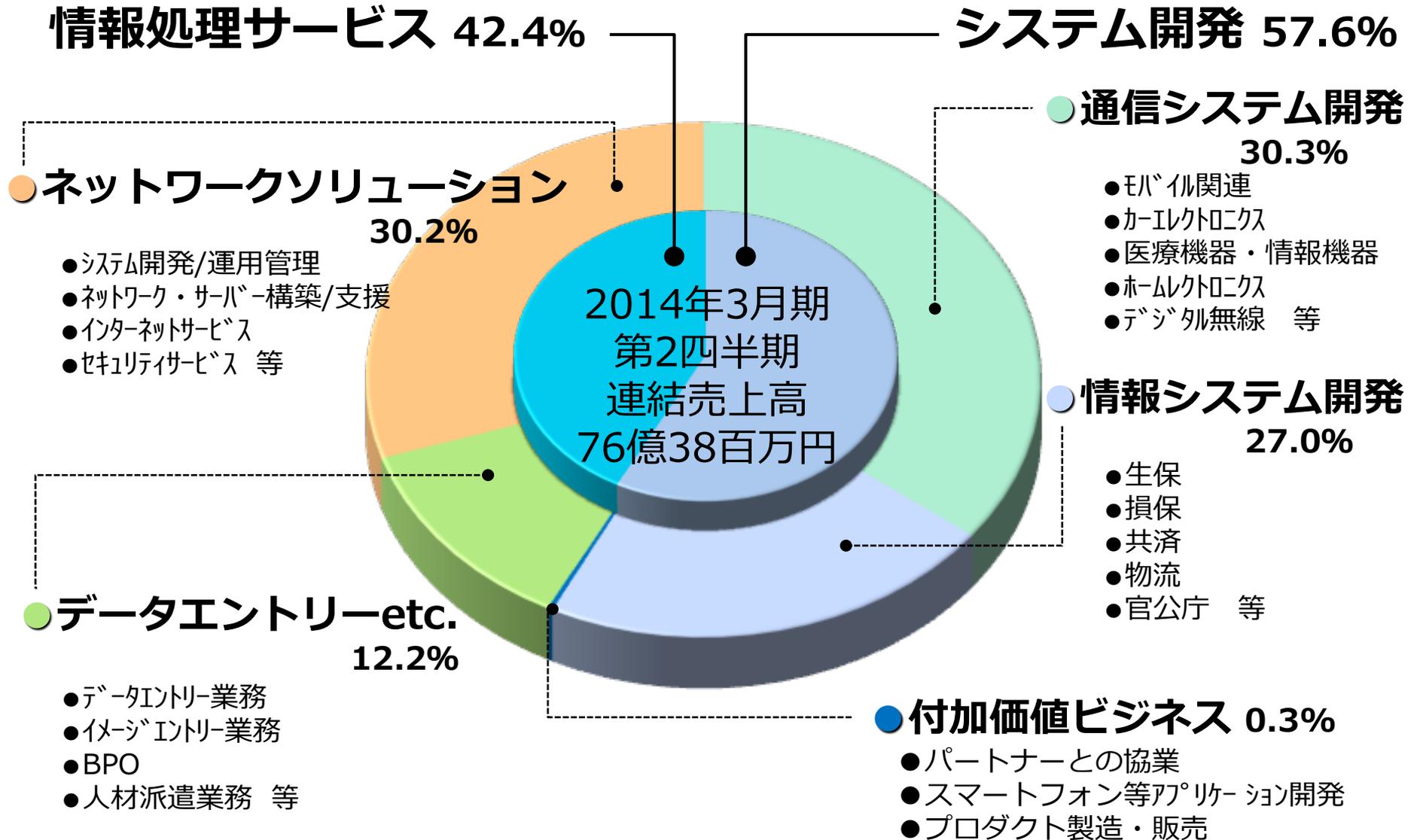


NID東北



NID・IE

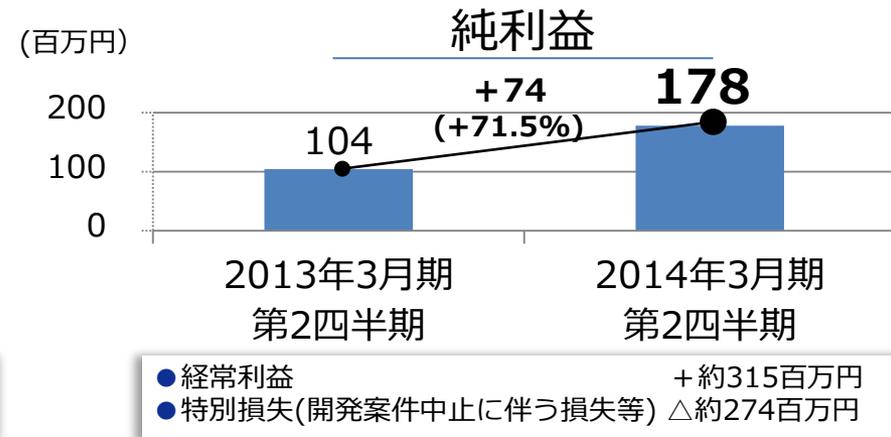
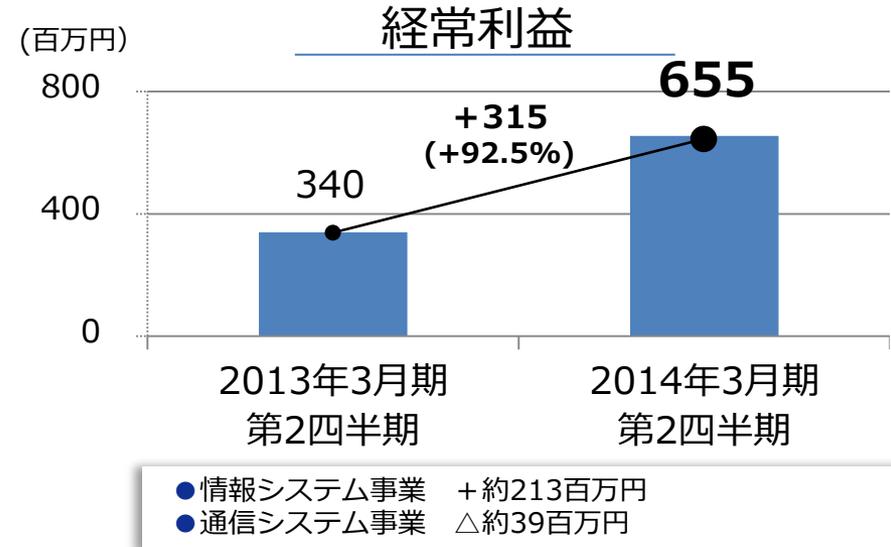
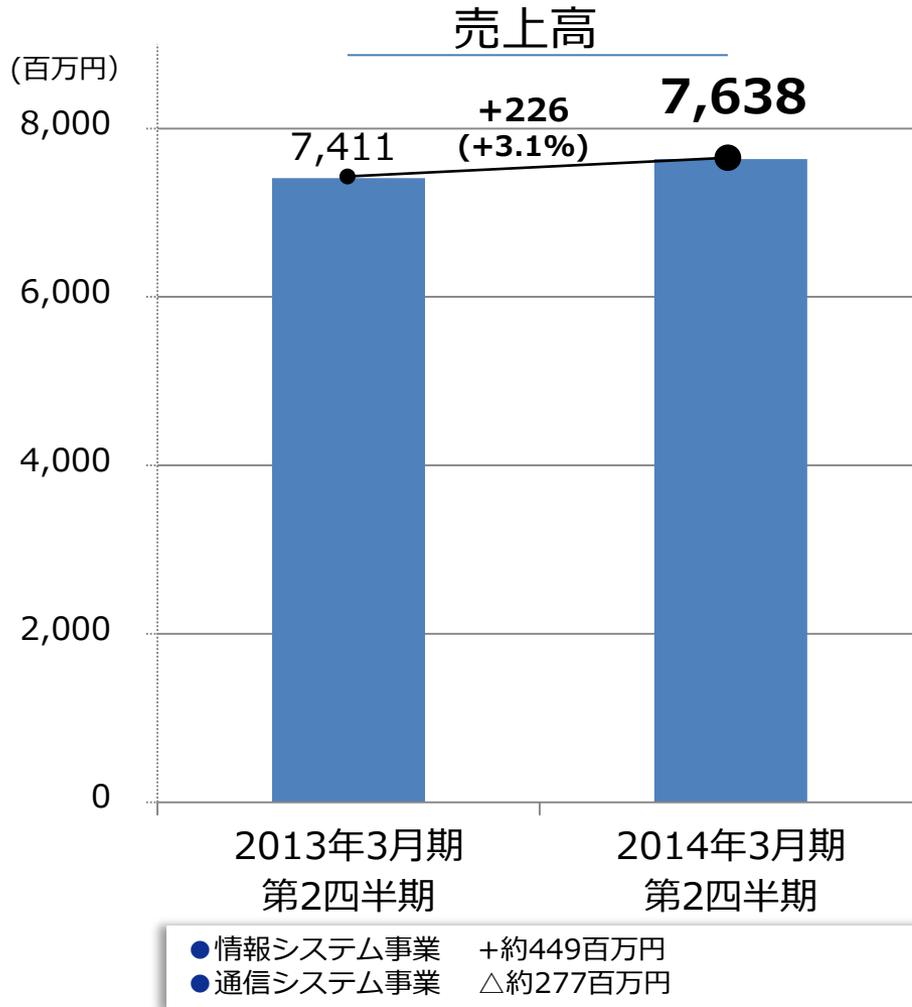
事業内容



2. 2014年3月期 第2四半期決算概要

2014年3月期第2四半期決算の概況

情報システム事業の受注好調で増収増益



貸借対照表 / CF

単位：百万円

貸借対照表	2013年 3月末	2013年 9月末	前期末 増減額	主な増減要因
流動資産合計	8,682	8,353	△328	受取手形及び売掛金の増加 △630 仕掛品の増加 +180
（現金及び預金）	(5,433)	(5,543)	(+110)	現金及び預金の増加 +110
固定資産合計	3,059	3,280	+220	
（投資有価証券）	(1,301)	(1,521)	(+220)	投資有価証券の増加 +220
資産合計	11,741	11,633	△108	
負債合計	4,811	4,709	△102	
純資産合計	6,929	6,923	△5	
負債純資産合計	11,741	11,633	△108	

投資有価証券内訳

- ・ 資金運用等 1,161
 (J-REIT 927)
- (その他 234)
- ・ 出資等 359

単位：百万円

キャッシュフロー計算書	2012年 4-9月	2013年 4-9月	主な要因
営業活動によるCF	555	575	税金等調整前四半期純利益 +284 売上債権の減少額 +630 法人税等の支払額 △163
投資活動によるCF	△599	△289	日本テクト株式会社への出資及び 投資有価証券の取得による支出 △306
財務活動によるCF	△172	△174	配当金の支払い額 △171
現金及び現金同等物期末残高	5,275	5,482	

日本テクト株式会社：医療系サービスが主な事業。当社の出資額は185百万円（出資比率29.5%）で持分法適用会社に該当。

■ セグメント別業績

セグメント別売上構成

NID東北



180 百万円(2.4%)

- 通信システム開発
- 情報システム開発

NID・IE



347 百万円(4.6%)

- データエントリー
(BPO、人材派遣)

NID・IS



1,326 百万円(17.4%)

- 通信システム開発
- 情報システム開発
- 付加価値ビジネス
- データエントリー

(NID業務部を含む)

通信システム事業



1,554 百万円(20.4%)

- 通信システム開発
- 付加価値ビジネス

情報システム事業



1,919 百万円(25.1%)

- 情報システム開発

ネットワーク ソリューション事業



2,309 百万円(30.2%)

- ネットワークソリューション

2014年3月期
第2四半期
売上高合計

7,638 百万円

通信システム事業

売上高、営業利益

(単位：百万円)

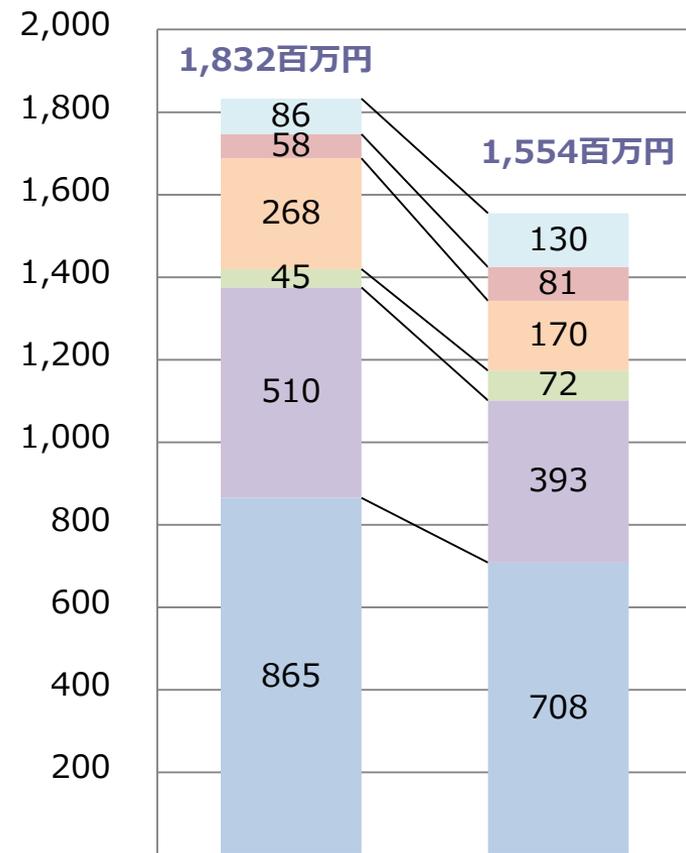
	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	1,832 (24.7%)	1,554 (20.4%)	△277
営業利益 (営業利益率)	77 (4.3%)	38 (2.5%)	△39

概況

当期の概況	主な顧客
<ul style="list-style-type: none"> モバイル関連をはじめ組込み関連の受注が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ソニーグループ トヨタグループ キャノングループ NTTグループ シャープグループ

通信システム事業
分野別売上高構成

(百万円)



2013年3月期第2Q 2014年3月期第2Q

- モバイル関連
- I T S 関連
- 情報家電
- 情報機器・医療機器
- デジタル無線
- その他通信、のぞく外販売

情報システム事業

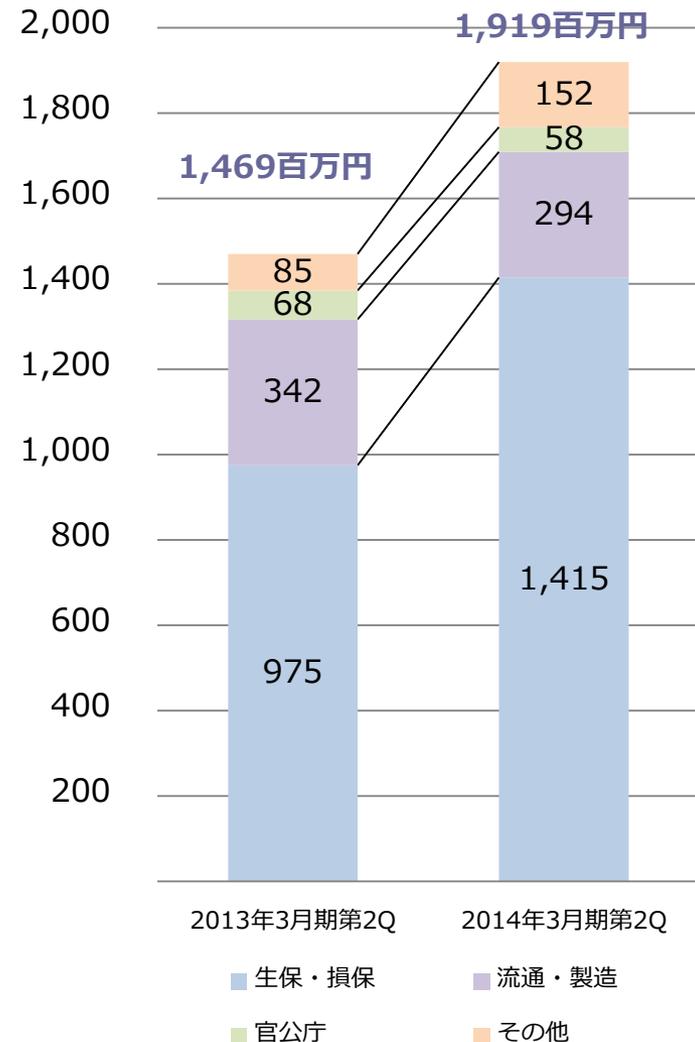
売上高、営業利益

(単位：百万円)

	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	1,469 (19.8%)	1,919 (25.1%)	+ 449
営業利益 (営業利益率)	86 (5.9%)	300 (15.6%)	+ 213

(百万円)

情報システム事業
分野別売上高構成



概況

当期の概況	主な顧客
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生損保や共済関連の主要顧客からの受注が増加 ・ プロジェクト管理の徹底で利益面で改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NKSJグループ ・ 富国生命グループ ・ 全労済グループ ・ 森永乳業

売上高、営業利益

(単位：百万円)

	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	2,222 (30.0%)	2,309 (30.2%)	+87
営業利益 (営業利益率)	116 (5.2%)	154 (6.7%)	+37

概況

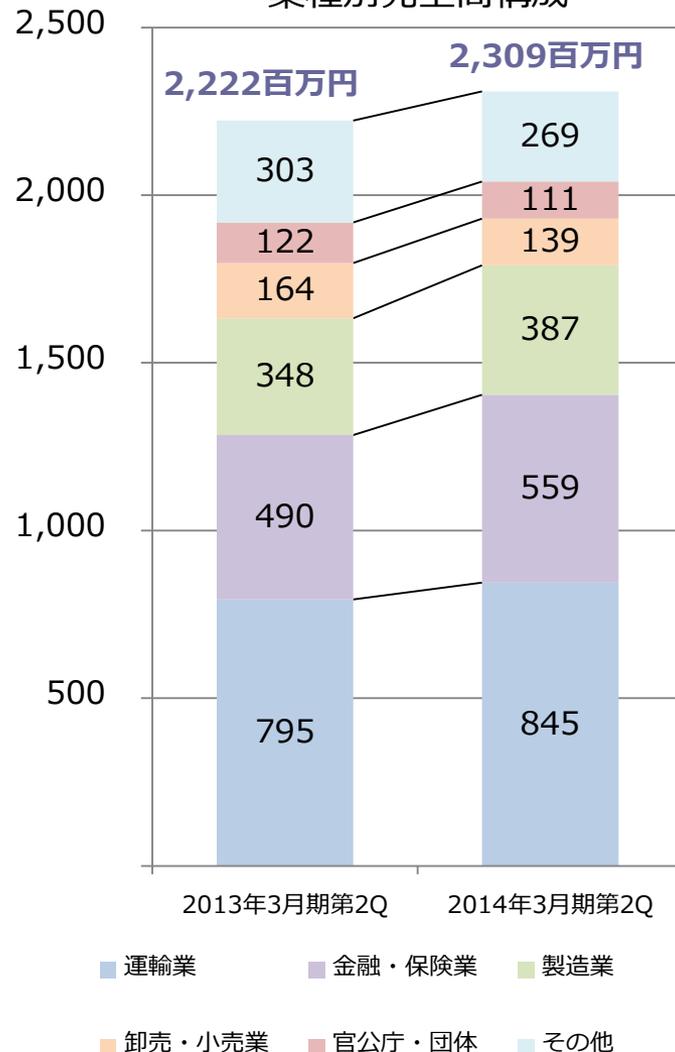
当期の概況

- ・ 運輸・生損保の主要顧客からの受注が安定

主な顧客

- ・ 全日空グループ
- ・ NKSJグループ
- ・ 日本出版販売グループ
- ・ NHKグループ

ネットワークソリューション
業種別売上高構成



売上高、営業利益

(単位：百万円)

	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	1,230 (16.6%)	1,326 (17.4%)	+95
営業利益 (営業利益率)	75 (6.1%)	110 (8.3%)	+35

当セグメントにはNID業務部が含まれております

概況

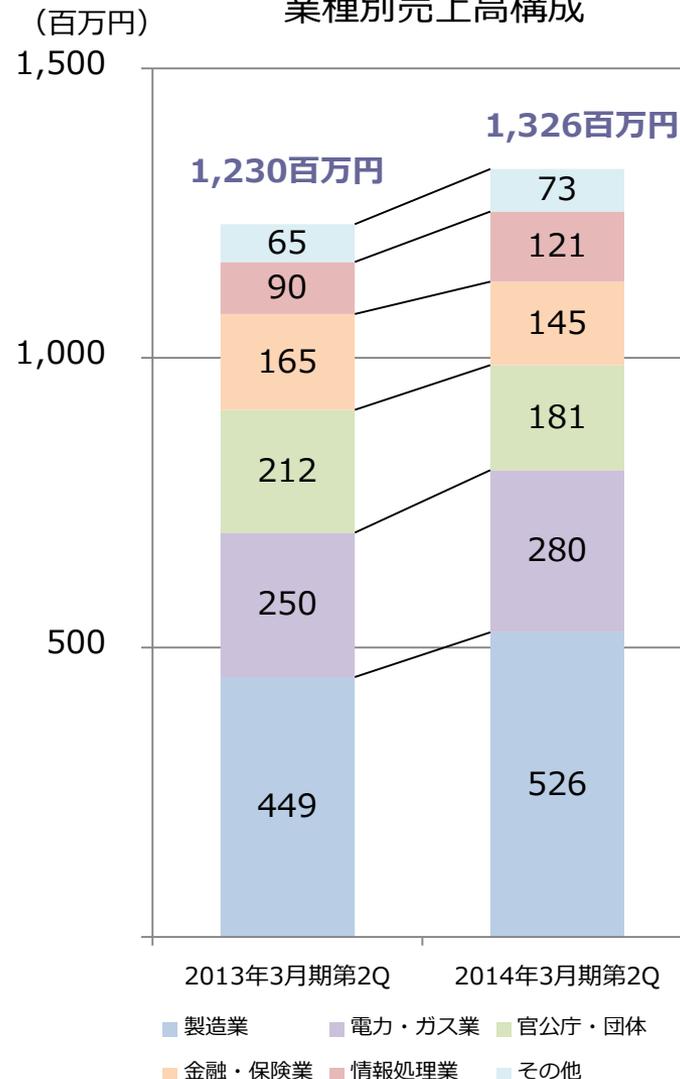
当期の概況

- ・システム開発の受注堅調
- ・電力関連のBPOの受注増加

主な顧客

- ・東京電力グループ
- ・キャノングループ
- ・シャープグループ
- ・ちばぎんグループ

NID・IS
業種別売上高構成



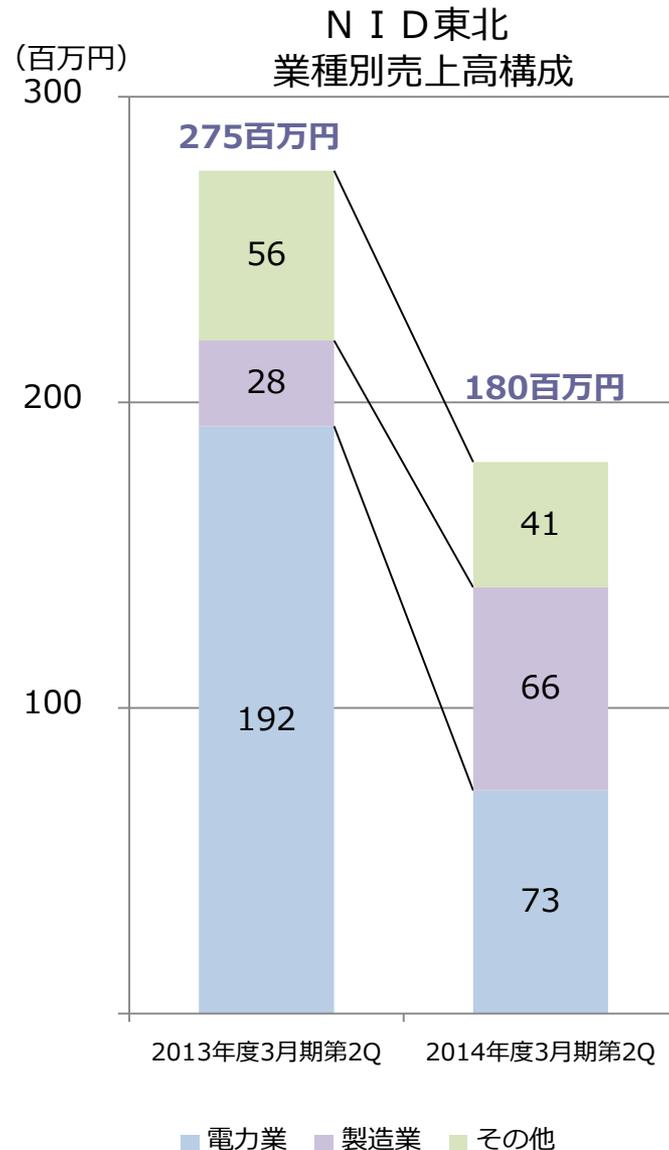
売上高、営業利益

(単位：百万円)

	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	275 (3.7%)	180 (2.4%)	△95
営業利益 (営業利益率)	△42 (-)	12 (6.8%)	-

概況

当期の概況	主な顧客
<ul style="list-style-type: none"> 電力関連の主要顧客からの受注が減少 営業強化を図り新規顧客獲得に努めるも厳しい状況が継続 	<ul style="list-style-type: none"> 東北電力グループ キヤノングループ



売上高、営業利益

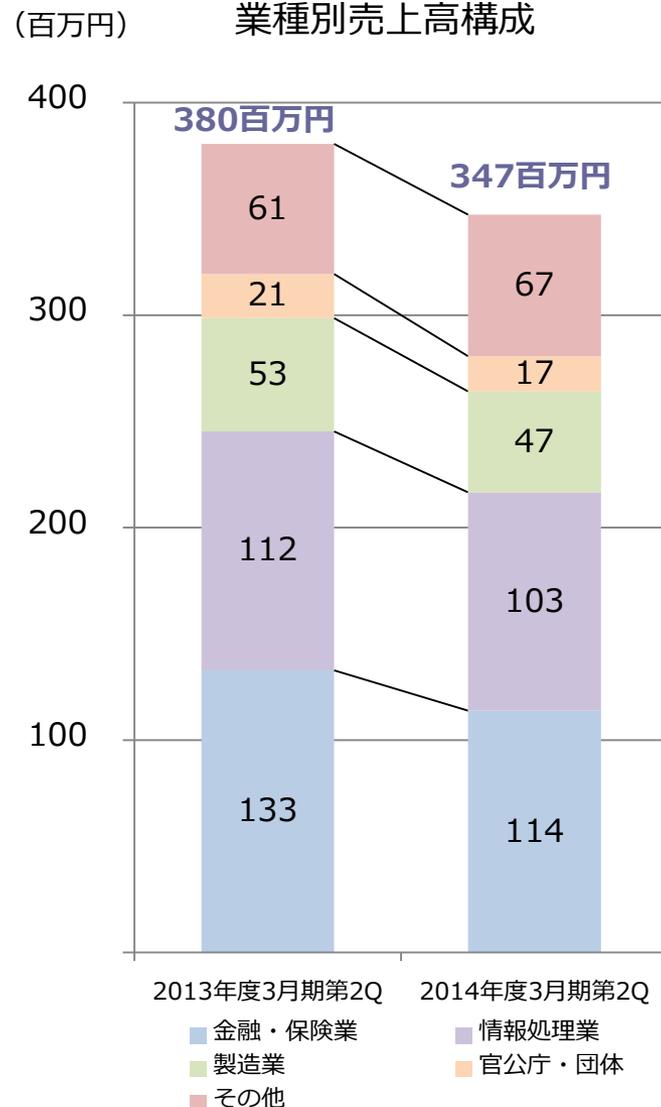
(単位：百万円)

	2013年 3月期 第2四半期	2014年 3月期 第2四半期	増減
売上高 (売上構成比)	380 (5.1%)	347 (4.6%)	△33
営業利益 (営業利益率)	35 (9.2%)	12 (3.6%)	△22

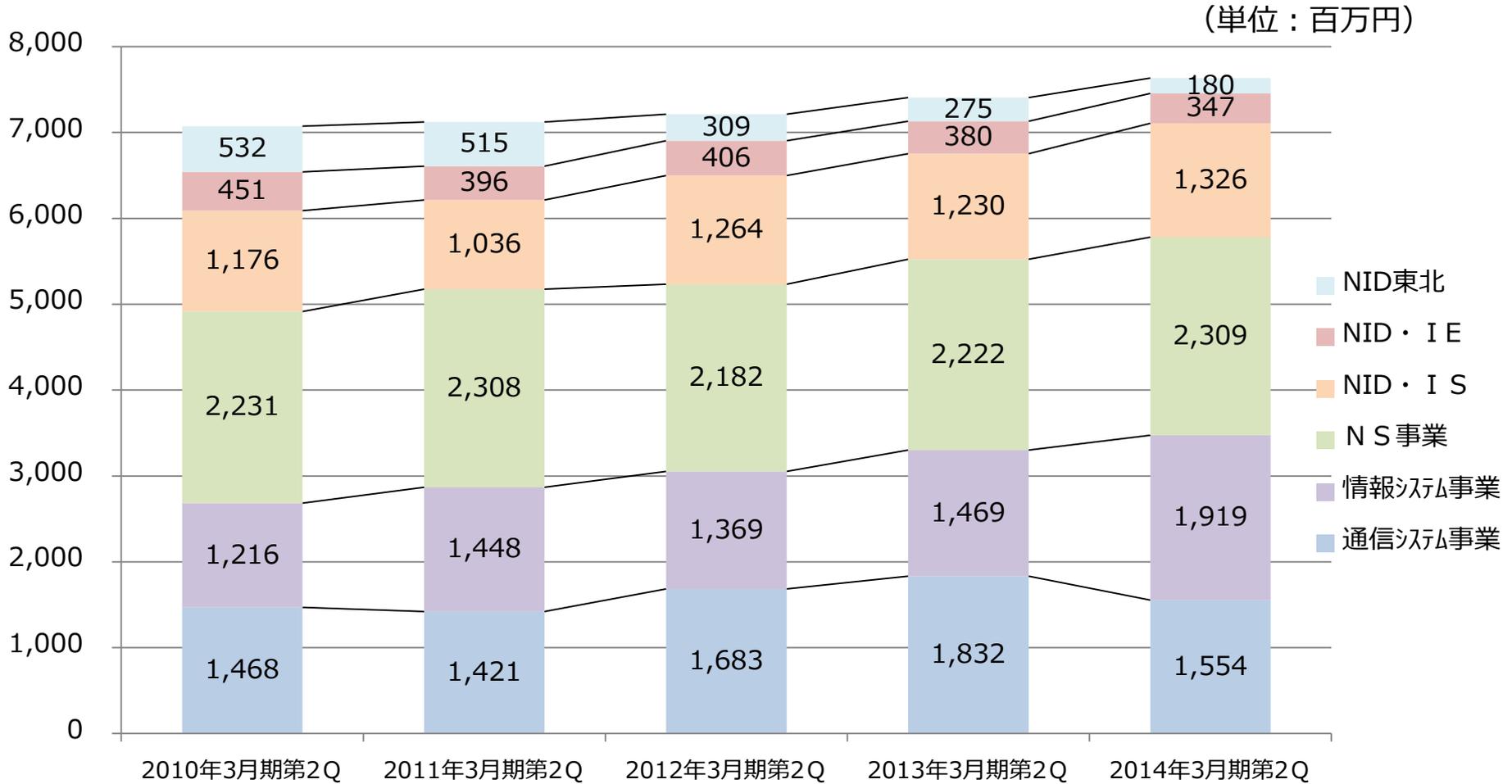
概況

当期の概況	主な顧客
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生損保関連の主要顧客からの受注が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富国生命グループ ・ 全労済グループ

NID・IE
業種別売上高構成

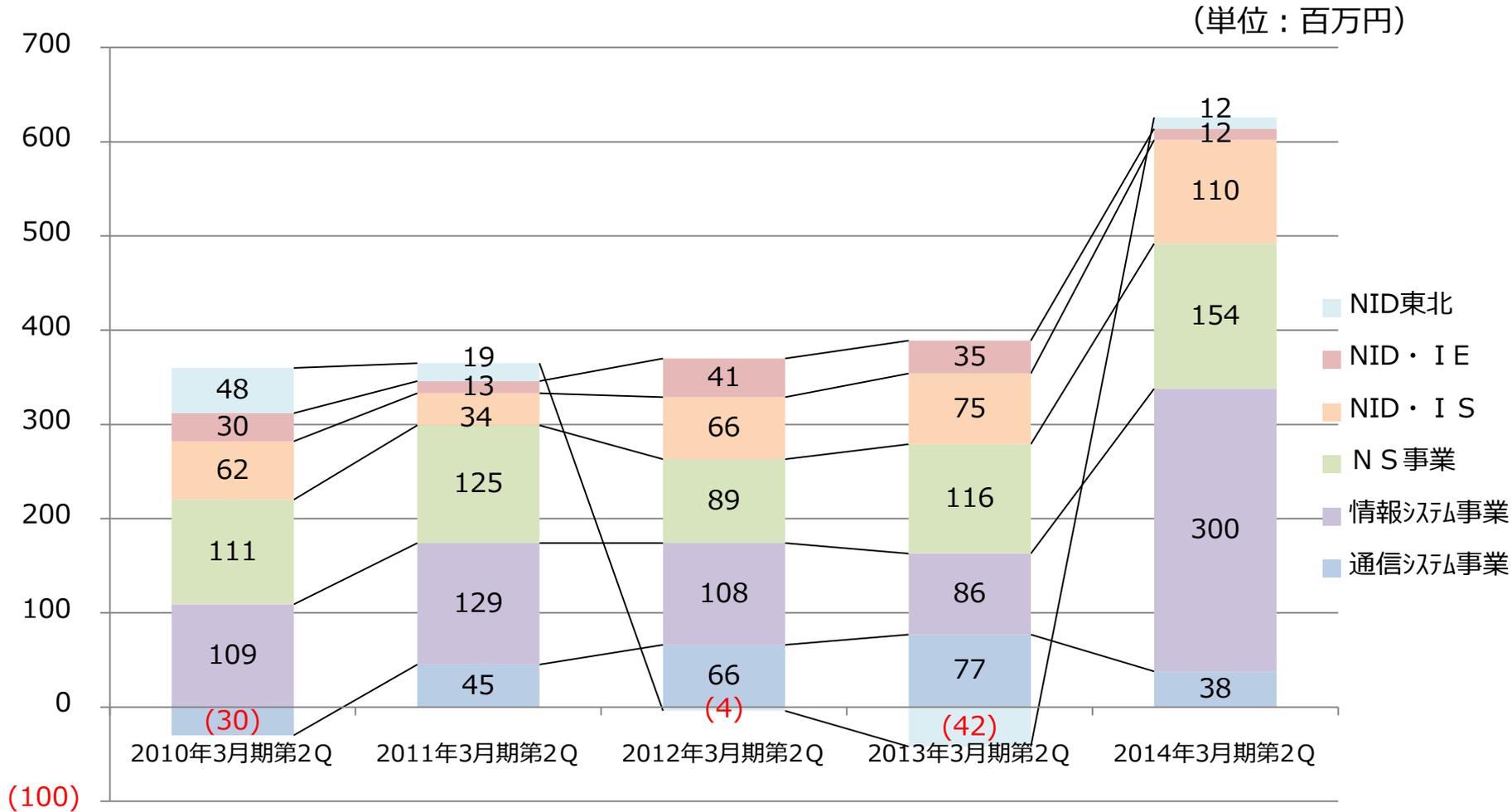


セグメント別売上高実績推移



NID・IS のセグメントにはNID業務部が含まれております

セグメント別利益実績推移



NID・IS のセグメントにはNID業務部が含まれております

3. 業績計画

2014年3月期通期連結業績計画

(単位：百万円)

	2013年 3月期 実績	売上比	2014年 3月期 計画	売上比	増減	前年度比
売上高	15,531	100.0%	16,000	100.0%	468	+3.0%
売上総利益	2,835	18.3%	3,104	19.4%	268	+9.5%
営業利益	1,011	6.5%	1,290	8.1%	278	+27.5%
経常利益	1,090	7.0%	1,300	8.1%	209	+19.2%
当期純利益	585	3.8%	500	3.1%	△85	△14.7%
1株当り 当期純利益	154.77円	---	132.08円	---	---	---

2013年11月1日に業績予想を修正

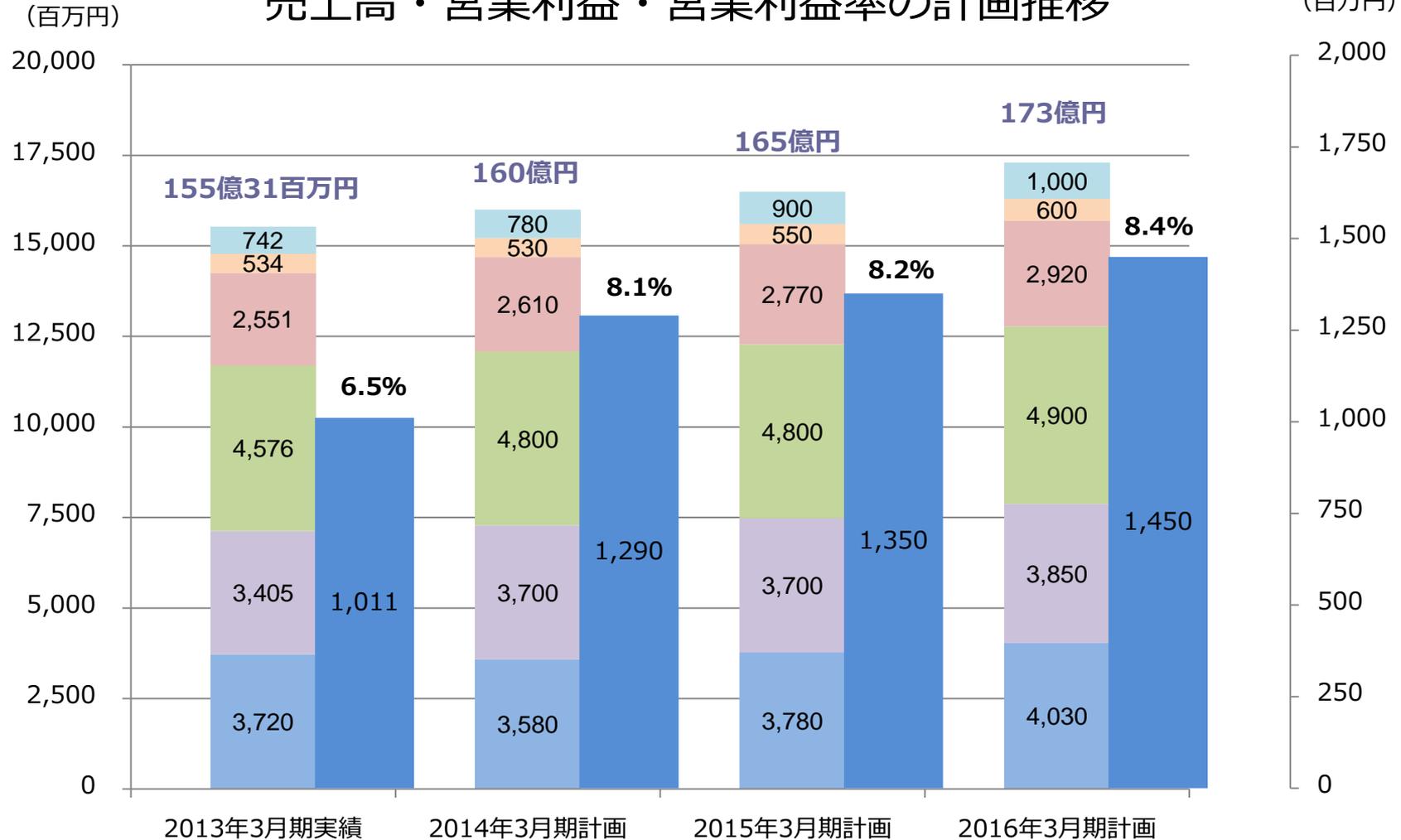
セグメント別計画

(単位：百万円)

セグメント名	2013年3月期 実績		2014年3月期 計画		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
通信システム事業	3,720	187	3,580	210	△140	+22
情報システム事業	3,405	313	3,700	500	+294	+186
ネットワーク ソリューション事業	4,576	305	4,800	310	+223	+4
NID・IS	2,551	177	2,610	190	+58	+12
NID東北	534	△44	530	40	△4	-
NID・IE	742	63	780	40	+37	△23

中期3カ年計画 <売上高・営業利益>

売上高・営業利益・営業利益率の計画推移



■ 通信システム事業
 ■ 情報システム事業
 ■ ネットワークソリューション事業
 ■ NID・IS
 ■ NID東北
 ■ NID・IE
 ■ 営業利益
 %営業利益率

4. 事業戦略

顧客のベストパートナーとして

- 事業間で柔軟かつ有機的に連携することで顧客の多様なニーズに応え、顧客満足度を向上させる
- 技術力、人間力を兼ね備えた専門技術者集団でユーザー価値を満足させる

市場への柔軟な対応

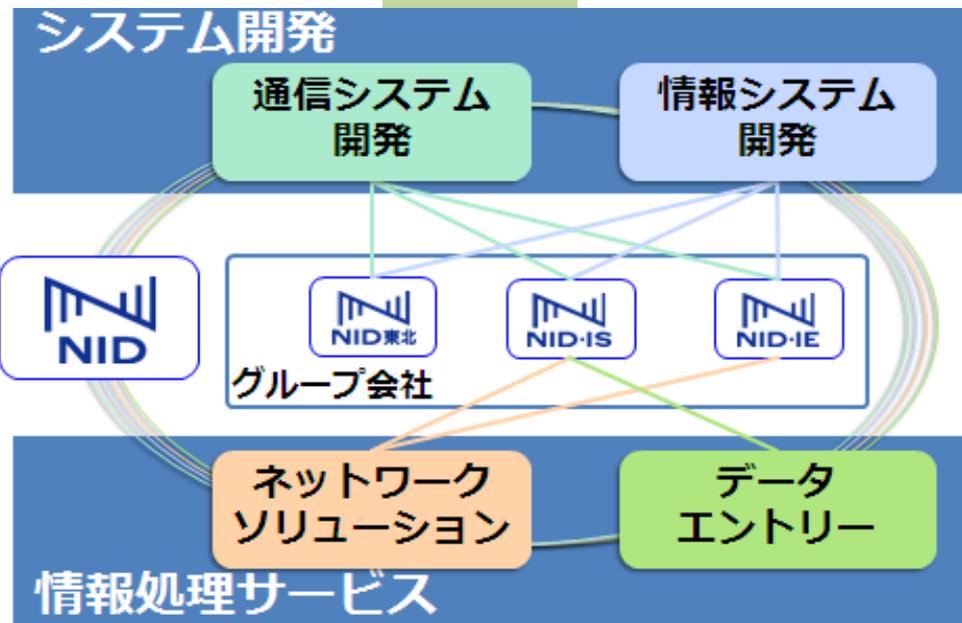
- スマートフォン、タブレットのビジネス活用の伸長
- 自動車のインテリジェント化、ネットワーク化の加速
- 金融（生保、共済）システム再構築へ積極参加

リスク管理の徹底

- 不採算プロジェクトの撲滅

事業戦略

基幹事業の バランス経営



持続的成長

付加価値ビジネス への投資

オープンイノベーションの推進

- 優良なパートナーとの協業
- スマートフォン、タブレットのアプリ開発
- プロダクト製造・販売

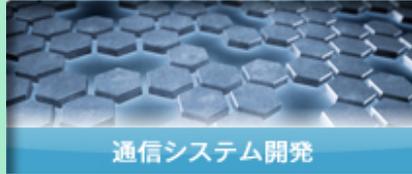


第5の事業へ展開

バランスチェックをしながら財務体質強化

基幹事業の戦略

通信システム 開発



- ▶ モバイル（スマホ、タブレット）のあらゆる分野でのアプリ開発（携帯メーカー → キャリア&モバイルユーザーへ）
- ▶ 情報系と組込み系の連携分野(車、医療、環境)とクラウド対応
- ▶ 防災無線などの無線通信

情報システム 開発



- ▶ 損保関連の大規模統合システムの構築に注力し事業基盤をより盤石なものへ進化

ネットワーク ソリューション



- ▶ ネットワークSE、基盤SE、業務SEによる、専門性を活かした高付加価値なサービスの提供
- ▶ リモート監視センター
- ▶ クラウドや仮想化への対応

データ エントリー



- ▶ BPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）でトータルなサービスの提供

先行して基幹事業の変革を推進

付加価値ビジネス

次世代のビジネスモデル構築を目指す



スマートデバイスサービスプラットフォーム

機能の刷新とWeb化を図り、新たなサービスモデルの創出を計画中

 VALiBO Androidの待受けをメディア化する「バリボ」

8月にAll about待受が新たにラインナップへ追加

 水土里ネット会計 土地改良区向け複式会計システム

全国土地改良事業団体連合会と共同開発 販売累計50本達成
100本を目標に販売展開中(既に2014年4月の販売見込みが約30本)



米国Sencha社のWebアプリ開発フレームワーク

モバイルアプリ開発でSenchaを積極活用→顧客へ提案、販売展開
受託アプリ等でSenchaをベースにした開発で実績

波及効果

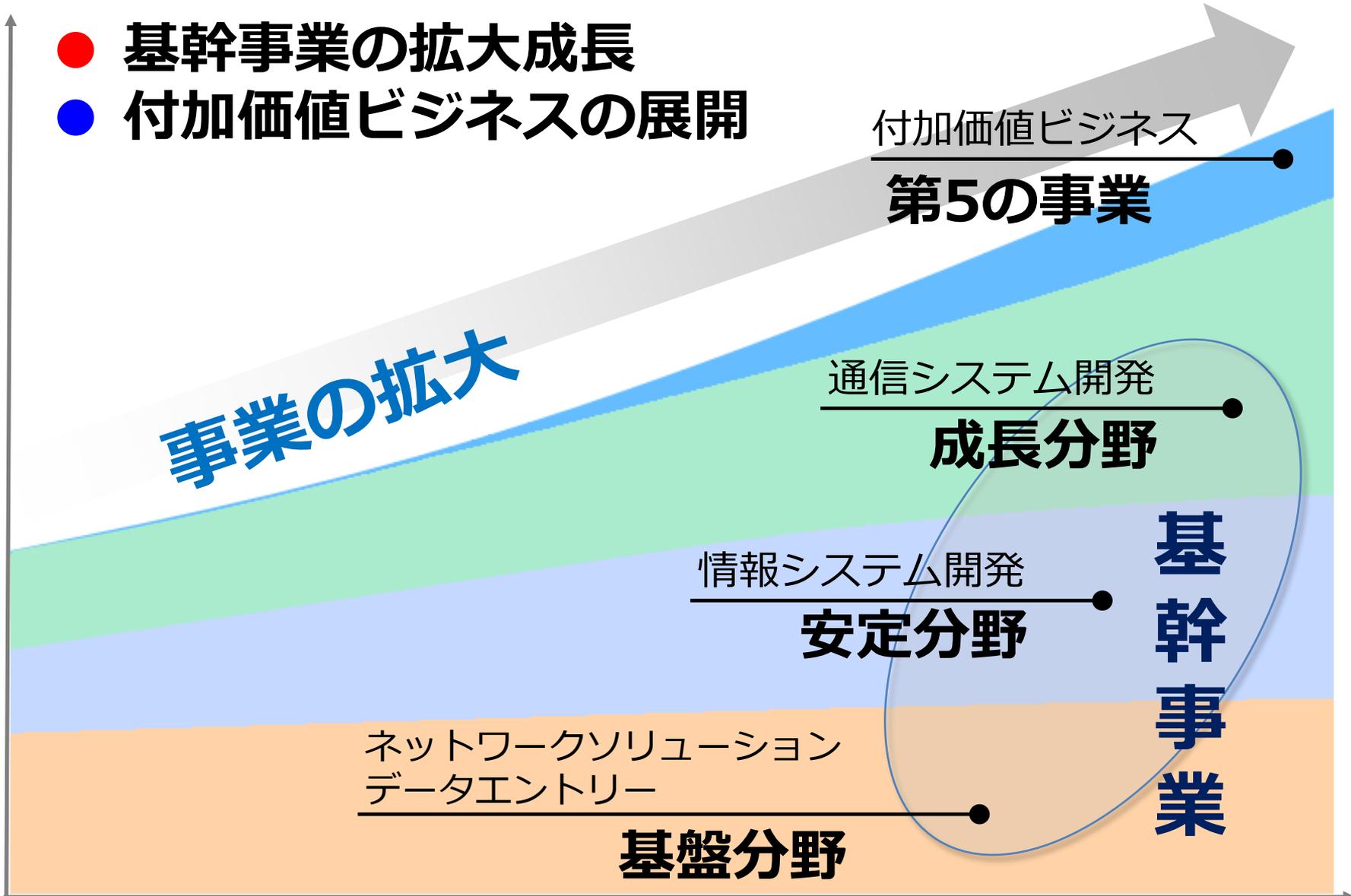
スマートデバイスアプリ開発の受注増

売上実績累計
約10億円

Androidタブレット開発、スマートTV
スマート家電 スマートハウス(HEMS) etc

今後の事業展開

- 基幹事業の拡大成長
- 付加価値ビジネスの展開



ビジョン

得意技への
こだわり

高い専門性を追求する

技術力（企業価値） = 品質（顧客満足度）

品質への
こだわり

常に技術に磨きをかける

基本への
こだわり

事業に軌軸をもつ

専門店経営でユーザー価値を満足させる
ベスト・パートナーに！！

まとめ

技術力、品質＝顧客満足度

技術力、品質、人間力を重視して
優良ユーザとの継続した取引を可能にする

基幹事業と投資＝安定と成長

バランス経営と付加価値ビジネスで
安定と成長を目指す

キャッシュフロー重視で不況下でも強い

財務体質を強化し安定配当を実現



株主の皆様への利益還元

配当

各期の業績、将来の事業展開、配当性向等を勘案し、
安定した配当を継続していきます。

2014年3月期（第47期）配当金予定 **45円**

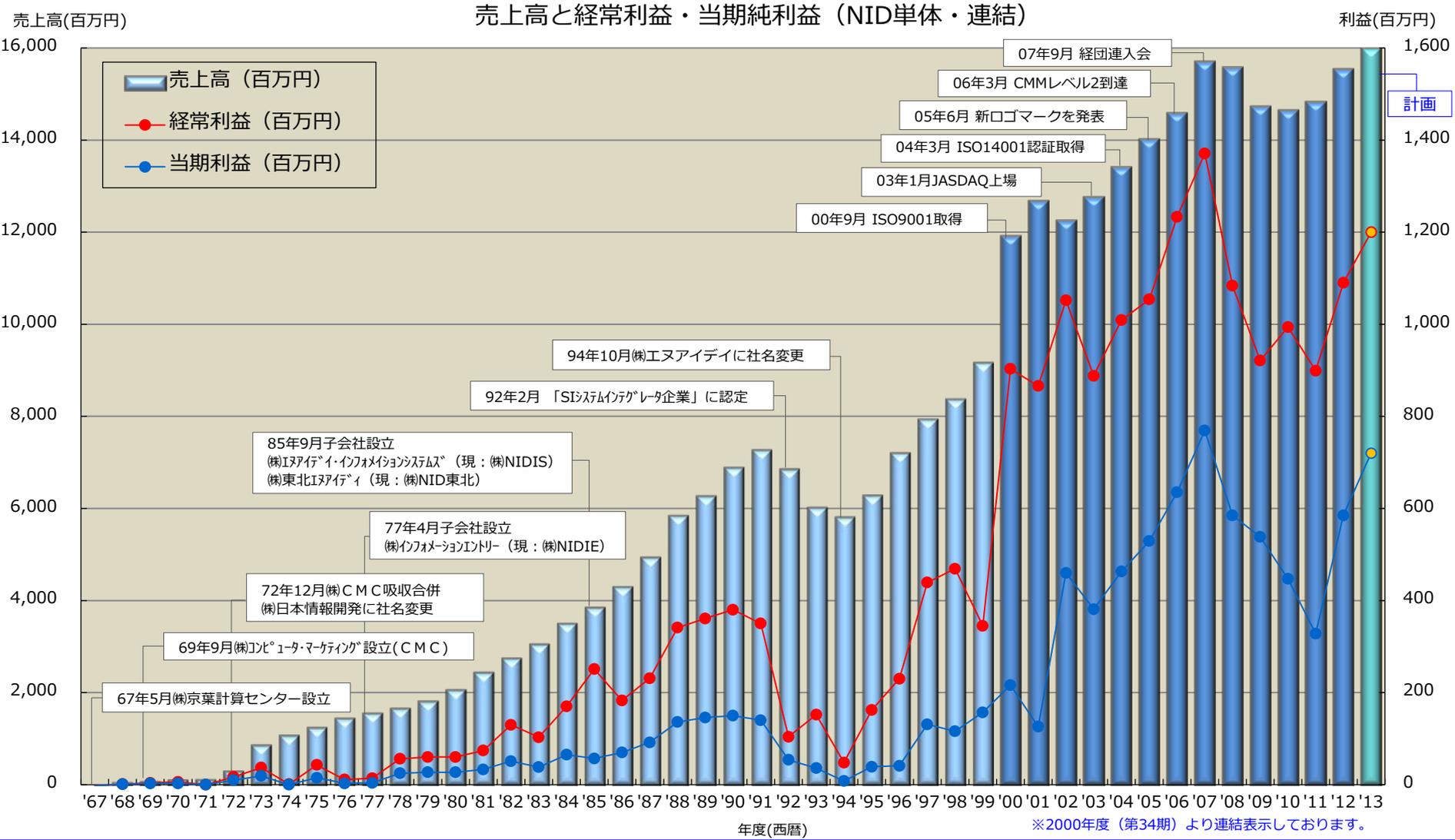
目標とする経営指標

売上高経常利益率 **10%**

自己資本当期純利益率（ROE） **15%**

■ 卷末資料

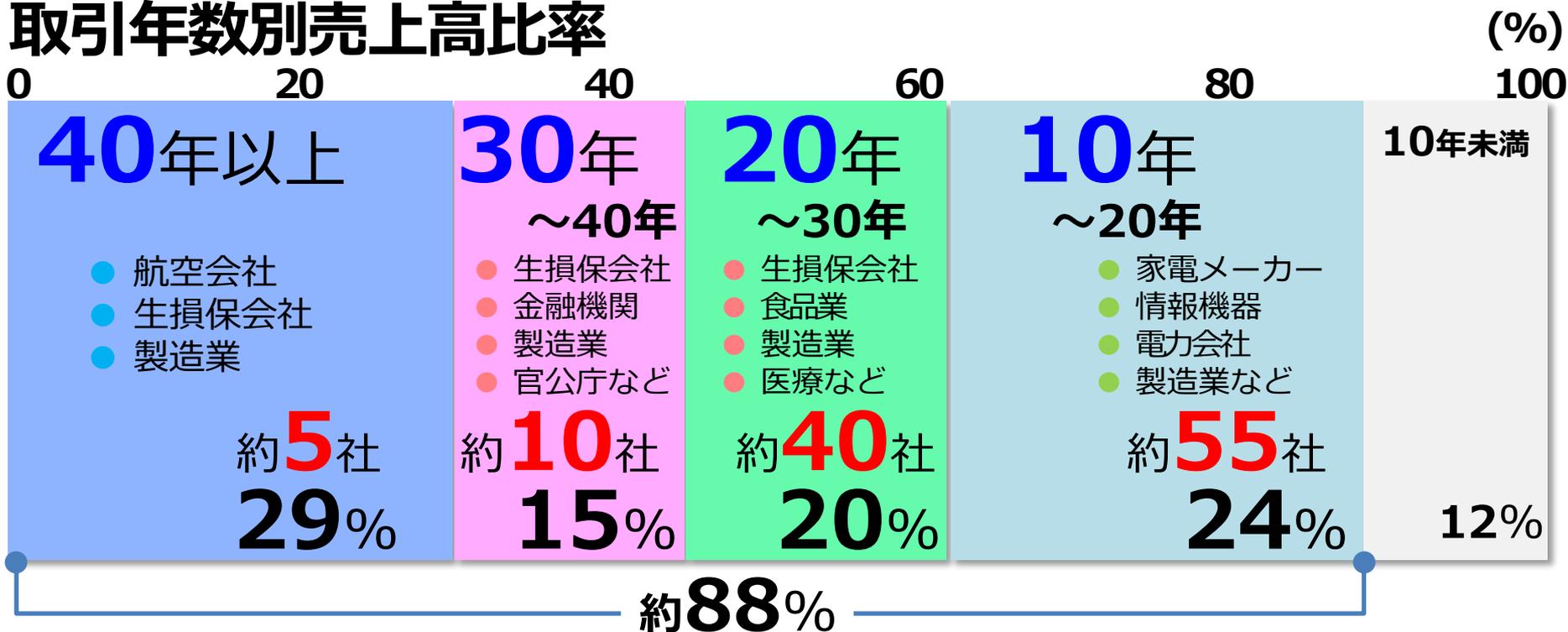
業績推移



優良顧客

優良な顧客との長期にわたる継続的な取引

取引年数別売上高比率



<主要取引先>

◆ NKSJ G、全日空G、富国生命G、全労済G、ソニーG、キヤノンG、NTT G、東北電力G、シャープG、トヨタG、パナソニックG、地方自治体、富士通G、森永乳業、富士ゼロックスG、ちばぎんG、東京電力G、日立G、フクダ電子、日本出版G、NHK G、三越伊勢丹G、横河電機G(ほか) (G:グループの略)

通信システム開発

Communication System

「**モバイル&エンベデッド**（組み込み技術）」をキーワードに、**モバイル分野**や**カーエレクトロニクス分野**を**重点分野**に、医療（ME）、情報家電分野などの各種組み込み系開発を提供。また、スマートフォン、タブレット端末の分野では、**Nstylist**、**VALiBO**など新たなビジネスも展開。

カーエレクトロニクス開発

スマホ、クラウドとの連携等を含め、最先端のサービスを提供



マルチメディア系

- スマホ用EV/PHV向け運転支援
走行距離ガイド、エコ運転支援
充電ステーション情報、空調操作
- リアシートエンターテインメント
- AVナビゲーション&スマホ連携

駆動系

- パワーマネジメント系ECU開発
パワーマネジメント系プラットフォーム
エコノミー制御、充電制御、燃料電池制御
- パワートレイン系開発
ECUプラットフォーム、故障診断機能

モバイルシステム開発

スマホがあらゆるデバイスと連携し、新たなサービスを創出



情報システム開発

Business
System

生命保険・損害保険をはじめとする金融系企業での基幹システムや共済事業、物流管理などの情報システムに関するソフトウェアの分析、設計から開発、保守まで提供しています。

事業領域

損害保険

- ・自動車、自賠責
- ・火災、傷害

官公庁

- ・埼玉県
- ・さいたま市

生命保険

- ・個人保険
- ・団体保険

共済

- ・こくみん共済
- ・ねんきん共済
- ・火災共済

物流、他

- ・倉庫管理
- ・基幹業務システム

NID ネットワークソリューション

Network
Solution

大手航空会社、生命保険・損害保険会社、出版物流会社、百貨店など幅広い分野で、セキュリティサービス、システムやネットワーク構築・支援から保守運用まで提供しています。

全日空様運用事例



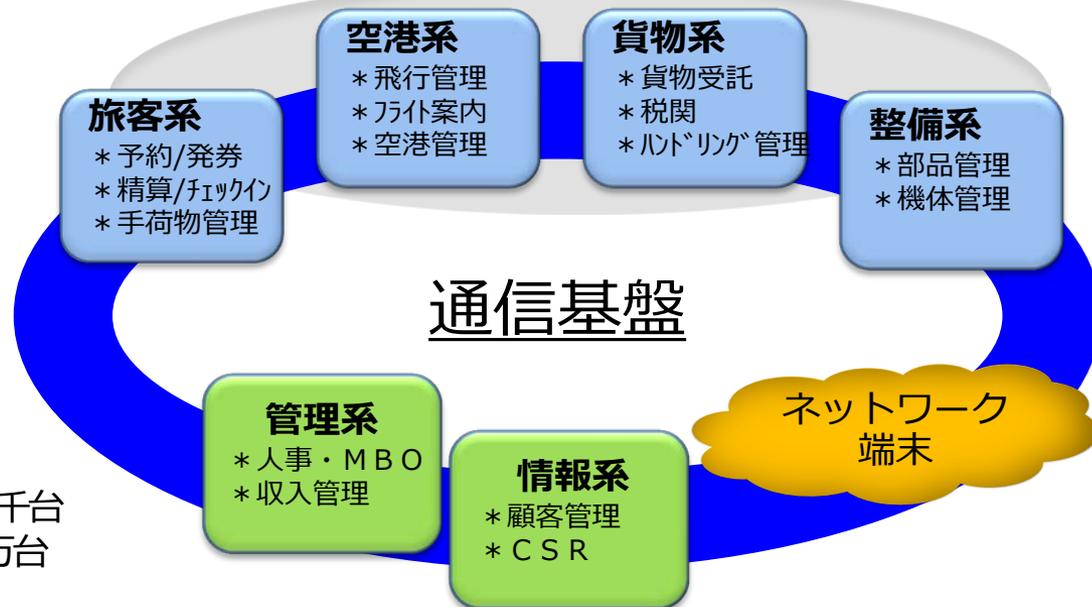
【構成】

- 基盤系 S E
- 業務系 S E
- 保守運用管理
(全体で210名体制)

【規模】

- サーバ約3千台
- 端末 約5万台

基幹系システム



■ 24時間365日、停止しないことが要求されるシステム(ミッションクリティカル) の設計・構築・運用管理

データエントリー

Data Entry

どんな業種においても、業務の合理化・効率化のためには情報のデジタル化・データベース化が不可欠です。NIDは、こうしたデータエントリー業務についても業界のパイオニアとして歩んできました。



- サービス構成
 - データ入力
 - OAオペレータ派遣
 - BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)
- 大容量
 - 最新マシン約100台
 - 大量データ処理
 - 短納期
- 高セキュリティ
 - 指紋認証入室管理
 - 監視カメラ設置
 - 専用サーバールーム
 - 耐火設備

データエントリー業務体制
要員計 約120名

■ 株式会社N I D ・ I S 佐原事業所(千葉県香取市)



Senchaは、デスクトップやモバイルデバイス用アプリケーションのデザイン・開発・運用を支援するフレームワークとツールです。



4つの特長



HTML5準拠



クロスブラウザにおける表現の忠実性



カスタマイズ可能なUI



柔軟性に富む開発



Senchaは、業界をリードするモバイルアプリ開発ツール

今後HTML5によるWebアプリ開発が普及していく中、当社も本ツールを活用した開発、販売を積極的に展開していく

日本テクト株式会社

社名	日本テクト株式会社
所在地	東京都港区芝1-8-25芝TKビル3階
事業内容	医療サービス事業等
出資比率	NID : 29.5%



Medi Pac Mama
産院向けベッドサイドシステム



DT-Navi
認知症の薬効モニタリングシステム

NID スマートフォンアプリケーション

iPhone/iPad向け製品名			
製品名	11/19時点 累計販売本数	製品名	11/19時点 累計販売本数
 GPS-R 07.11.13~	157,336	 ToyMode 09.03.29~	3,795
 GPS-R for London マラソンコース 12.07.25~	8,925	 PopApp 10.06.03~	2,691
 Ki-Ri-e 08.12.20~	775	 知育ぱんだ1~4 11.07.01~	2,817
 Ki-Ri-e lite 08.12.20~09.07.01	19,557	 知育ぱんだと遊ぼう 12.02.01~	3,521
 Ki-Ri-e lite for iPad 11.03.03~	4,439	 ここだよLite 13.01.11~	839

Android向け製品名			
製品名	11/19時点 累計販売本数	製品名	11/19時点 累計販売本数
 GPS-R 09.04.13~	21,880	 知育ぱんだ1~4 11.07.01~	101
 ToyMode 10.08.25~	726	 知育ぱんだと遊ぼう 12.01.26~	2,052
 PopApp 10.09.03~	2,669		

用語集

エンベデッド(Embedded)	デジタルTV、DVD(Digital Versatile Disk)、PDP(Plasma Display Panel)などの情報家電から携帯電話、携帯端末(PDA: Personal Digital Assistance)、車載システムなどに組み込むソフトウェアの総称です。
情報家電 (ホームエレクトロニクス)	情報通信機能を組み込み、高機能化・ネットワーク化した家電製品のこと。デジタルTVなどのAV機器や、家庭用ゲーム機などをはじめ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機といった白物家電も情報家電への進化が期待されています。
LTE(Long Term Evolution)	100Mbpsのデータ伝送が可能な移動通信システムであり、次世代携帯電話の通信規格の1つ。第3世代携帯電話(3G)と将来登場する第4世代携帯電話(4G)との間の技術であるため、第3.9世代携帯電話(3.9G)とも呼ばれます。
ITS(Intelligent Transport System)	高度道路交通システム。最先端の情報通信技術を利用して、ナビゲーションシステムの高度化、将来の自動運転を目標とした安全運転の支援、有料道路でのノンストップ自動料金支払システム等により交通の安全や効率性の向上を実現します。
iPhone(アイフォン)	アメリカのアップル社が売り出した新しいスマートフォン。携帯電話としての基本的な機能と共に、携帯音楽プレーヤーであるiPodの機能も付いており、インターネットを通じてダウンロードをした音楽やテレビ番組、映画などの再生が出来ます。さらに、ネット検索などのパソコン機能もあり、キーボードを廃しタッチパネルを主体としたデザイン、および従来にはないマルチタッチ(複数の指による操作)などによる新しいユーザーインターフェースが特徴です。
Android(アンドロイド)	米Googleがパートナー30社以上と共同で2007年11月に発表したLinuxベースのOS、ミドルウェア、ユーザーインターフェイス、メーカーやブラウザなどの基本アプリケーションを含んだプラットフォームの総称です。スマートフォンやタブレットPCなどの携帯情報端末を主なターゲットとして開発されておりま。
M2M(Machine-to-Machine)	ネットワークに繋がれた機器同士が人間を介せずに相互に情報交換、制御を自動で行う仕組みや技術のことです。ユビキタス社会実現のために注目されている技術であり、その適用範囲は広く活用場面が急速に広がっている。
HV/EV/PHV車	HV(ハイブリッド車): エンジンと電動モーターを効率的に使い分ける自動車のこと。EV(電気自動車): 電動モーターで駆動させる自動車のこと。PHV(プラグインハイブリッド自動車): 外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車のこと。
プラットフォーム(platform/PF)	コンピュータやシステムの基礎部分となるもの。通常、ハードウェアおよび(または)オペレーティングシステム(OS)の種類や環境、設定などを指します。
クラウド(cloud)	従来は手元のコンピュータで管理・利用していたようなソフトウェアやデータなどを、インターネットなどのネットワークを通じてサービスの形で必要に応じて利用する方式です。システム構成図でネットワークの向こう側を雲(cloud: クラウド)のマークで表す慣習があることから、このように呼ばれます。
BPO(Business Process Outsourcing)	企業などが自社の業務の一部を外部の専門業者に企画・設計・運営まで一括して委託することです。従来のアウトソーシングとの大きな違いは、業務の委託範囲です。例えば、情報システムのアウトソーシングでは、システム構築と運用・保守を委託することを指しますが、BPOでは、企画立案の段階から当該業務システムだけでなく業務そのものを含めて丸ごと外部企業に委託します。
ホームアプリ (home application)	スマートフォン端末のホーム画面として利用するアプリ。制作者オリジナルの壁紙やアイコンを表示させることができます。デフォルトのデザインを自分好みのものに取り替えることから、「着せ替え」と称することもあります。



<http://www.nid.co.jp>